

スポーツプロモーションコース

1 必修専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK001	スポーツ・ヘルスプロモーション論概論	1	2.0	1・2	春AB	水7,8		菊 幸一, 高橋 義雄, 尾縣 貢, 山口 香, 久野 譜也, 柴田 愛, 水上 勝義, 辻 大士	現代社会におけるスポーツプロモーションとヘルスプロモーションの理念を理解し、その相互の合理的な関係化による相乗的効果を上げることの重要性について学習する。スポーツとヘルスの相乗的・相乗的な関係の基本理念とその哲学について、人間存在の生理的・心理的・社会的な特質との関係から概説する。また、現代社会における長寿化人生、ハイテク・情報化生活等の生活変容に注目しながら、人間存在の現代的課題を取り上げ、そこにおけるスポーツ文化享受による健康開発の可能性を環境世界、社会・文化生活、諸個人のライフスタイルやライフステージとの関係から概説し、エコロジーと共生を希求する21世紀世界におけるスポーツ・ヘルスプロモーションの相乗的な効果を上げるための政策課題について講義する。	履修は本学位プログラムの在籍生に限る OATS011と同一。
01EK002	スポーツ・ヘルスプロモーション方法論	1	1.0	1・2	春C	水7,8	2F講義室7	菊 幸一, 尾縣 貢, 水上 勝義, 柴田 愛, 渡部 厚一	スポーツ・ヘルスプロモーションの修士論文・特定課題研究報告書の作成のために必要な基礎的な方法論について概説する。各自の研究計画の実現に向けて、研究デザインと科学的方法的客観性を担保する方法基礎論を理解し、文献や資料のオンライン検索の方法を学ぶ。また、社会調査法の一般的な手順を概説する。さらに、調査や実験データの分析法・検定法などの統計手法について、分析や検定結果の解釈法について文献を用いて理解したり、実際に統計解析ソフトを用いながら理解を深める。	OAS0603と同一
01EK003	スポーツ健康研究方法論I	2	1.0	2	春ABC秋A	随時		菊 幸一, 高橋 義雄, 尾縣 貢, 山口 香, 久野 譜也, 柴田 愛, 水上 勝義	研究計画を立案し、研究テーマを設定し、研究テーマ届を提出することを目標とする。スポーツや健康のプロモーションやマネジメントに関する研究について担当教員の指導のもとに先行文献を参照しながら研究計画を立案し、研究テーマを設定し、研究テーマ届を提出する。	OATS021と同一。

2 選択専門科目(共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK004	スポーツ健康研究方法論II	2	1.0	2	秋A	随時		菊 幸一, 高橋 義雄, 尾縣 貢, 山口 香, 久野 譜也, 柴田 愛, 水上 勝義	学位論文中間発表会に終日参加し、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表ができることを目標とする。スポーツ・ヘルスプロモーションの修士論文・特定課題研究報告書の作成のために必要な基礎的な研究方法について、学習する。スポーツや健康のプロモーションやマネジメントに関する研究に、設定した各自の研究テーマに基づき、担当教員の指導のもとに、研究を実施し、資料・データの解析、プレゼンテーションの方法等について学ぶ。そして、学位論文中間発表会に終日参加すること、および、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表を行う。	OATS032と同一。
01EK005	スポーツ健康研究方法論III	2	1.0	2	春A	随時		菊 幸一, 高橋 義雄, 尾縣 貢, 山口 香, 久野 譜也, 柴田 愛, 水上 勝義	学位論文中間発表会に終日参加し、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表ができることを目標とする。スポーツ・ヘルスプロモーションの修士論文・特定課題研究報告書の作成のために必要な基礎的な研究方法について、学習する。スポーツや健康のプロモーションやマネジメントに関する研究に、設定した各自の研究テーマに基づき、担当教員の指導のもとに、研究を実施し、資料・データの解析、プレゼンテーションの方法等について学ぶ。そして、学位論文中間発表会に終日参加すること、および、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表を行う。	9月末修了予定で、「01EK004」を未修得の者用 OATS033と同一。

2-1-1 選択専門科目(スポーツプロモーション領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK101	スポーツプロモーション論特講	1	2.0	1・2	秋AB	木7,8		菊 幸一	現代社会におけるスポーツプロモーションの基本理念を理解し、現代スポーツの社会的構造を分析するとともに、スポーツプロモーション政策の課題について学習する。スポーツの社会的需要・供給関係を軸にした社会的構造・機能モデルに基づいて、現代社会におけるスポーツのポジティブ/ネガティブな作用を分析し、そこからスポーツプロモーションの基本理念を概説する。また、プロフェッショナルスポーツの成立と発展過程をも視野に入れつつ、文化としてのスポーツプロモーションのあり方について講義する。	OATS110と同一。

01EK112	スポーツプロモーション論演習1	2	1.0	1・2	秋ABC	随時	菊 幸一	スポーツプロモーションに関する各自の問題意識を反映するテーマについて明確な動機・目的につながる内容を主にメディアスポーツ、スペクテータースポーツ、スポーツの生産と消費の観点から演習し、スポーツプロモーションにおける政策立案モデルを描けるようにする。国レベル、地域レベル、団体レベルのスポーツプロモーション政策の具体的事例を取り上げ、それぞれの歴史・社会・文化的背景との関係からその政策課題を相互比較し、それぞれの特徴と課題を明らかにする。こうして養われるスポーツプロモーション政策形成の具体的分析力を基礎に、それぞれの学生の現職経験に基づくスポーツプロモーション問題を取り上げ、そこに作用する政治課題のベクトルと生活課題のベクトルをシミュレーションすることによって政策課題を明確にし、政策立案のモデル化について演習する。	OATS111と同一。
01EK113	スポーツプロモーション論演習2	2	2.0	1・2	春AB	木7,8	菊 幸一	グローバル化する世界のスポーツの文化状況を踏まえながら、これからのスポーツプロモーションにおけるビジョンと課題を検討し、諸外国のスポーツ文化状況を通じた多様なスポーツライフスタイルを構想して、スポーツプロモーションに関する具体的な問題意識を醸成する。概念レベル、歴史レベル、社会レベルのスポーツプロモーションに関わる文化的課題を取り上げ、それらの課題を相互比較し、我が国のスポーツプロモーションの在り方を検討する。こうして養われるスポーツプロモーション政策形成の具体的分析力を基礎に、それぞれの学生の現職経験に基づくスポーツプロモーション問題を取り上げ、そこに作用する政治課題のベクトルと生活課題のベクトルをシミュレーションすることによって政策課題を明確にし、スポーツの文化的アイデンティティに基づく政策立案のモデル化について演習する。	OATS112と同一。
01EK105	スポーツプロモーション論実習	3	1.0	1・2	通年	随時	菊 幸一	現職経験から導かれるスポーツプロモーション問題を政策科学の視点から課題化し、各自が対象とする具体的な組織や関連イベントにかかわるスポーツプロモーションの現状と課題を明らかにする。学生の現職経験から導かれるスポーツプロモーション問題を、政策科学の視点から政策課題化し、それに基づく政策目標-政策対象-政策条件-政策計画のシミュレーションを行う。このシミュレーションモデルに基づき、政策展開に必要な環境的・物的・人的・文化的資源を査定し、当該政策実施における既存資源を評価し、過剰/不足資源を明確にする。さらに、明確化された不足資源の整備・開発を計画すると共に、政策展開の視点から見た有効資源のシステムをデザインし、具体的な政策モデルをシミュレーションする。	OATS113と同一。
01EK106	スポーツイベント論特講	1	2.0	1・2	春A	金7,8,集中	高橋 義雄	スポーツプロモーションにおけるスポーツイベントの理念と意義を理解するとともに、スポーツイベントと地域形成、現代社会におけるスポーツイベント政策、プロフェッショナルスポーツの発展過程などについて、その歴史社会的な意味や現代的機能を探究する。スポーツイベントの社会的需要・供給関係を軸にした社会的構造・機能モデルに基づいて、スポーツプロモーションにおけるスポーツイベントの理念と意義を概説する。これに基づいて、現代社会におけるスポーツイベントのポジティブ/ネガティブな地域形成作用を分析し、そこから現代社会におけるスポーツイベントの政策的役割を分析する。また、プロフェッショナルスポーツの発展過程を分析し、その社会及び地域形成に関わる意味と機能について概説する。	集中講義10:00~ OATS120と同一。 4/10, 5/8
01EK114	スポーツイベント論演習1	2	1.0	1・2	春ABC	随時	高橋 義雄	スポーツイベントにかかわる各自の研究関心に沿って、経営学分野、特にイノベーション研究を取り上げ、その課題を演習する。国際、国、地域、各レベルにおけるスポーツイベントの事例を取り上げ、その社会的な構造と機能を理解しながら課題を演習する。国際レベル、国レベル、地域レベルのスポーツイベントの具体的事例を取り上げ、それぞれの歴史・社会・文化的背景との関係からその構造的・機能的特性を相互比較し、それぞれのスポーツ及び地域プロモーションに関する政策課題について演習する。また、プロフェッショナルスポーツの具体的事例から、スポーツイベントの展開過程における問題と課題について演習する。	OATS121と同一。

01EK115	スポーツイベント論演習2	2	2.0	1・2	秋AB	金7,8	高橋 義雄	スポーツイベントにかかわる各自の研究関心に沿って、適切な研究方法を選択し、先行研究を取り上げて各自の研究について演習する。スポーツイベント論実習と平行して行い、実習の事例を取り上げ、その社会的な構造と機能を理解しながら課題を演習する。国際レベル、国レベル、地域レベルのスポーツイベントの具体的事例を取り上げ、それぞれの歴史・社会・文化的背景との関係からその構造的・機能的特性を相互比較し、それぞれのスポーツ及び地域プロモーションに関する政策課題について演習する。また、プロフェッショナルスポーツの具体的事例から、スポーツイベントの展開過程における問題と課題について演習する。	OATS122と同一。
01EK110	スポーツイベント論実習	3	1.0	1・2	通年	随時	高橋 義雄	スポーツイベント論演習で学んだスポーツイベントにかかわる研究方法を採用し、その研究方法で指定されたスポーツイベントを調査する。フィールド調査、アンケート調査など個人または研究グループを結成し、調査プロジェクト実施方法を学ぶ。学生の現職経験から導かれるスポーツイベント問題を、スポーツプロモーションと地域形成の視点から政策課題化し、それに基づくスポーツイベント展開のマネジメントのシミュレーションを行う。このシミュレーションモデルに基づき、スポーツイベント編成に必要な諸エージェントと資源を査定し、当該イベント展開における関係エージェントと資源のシステム化をシミュレーションし、具体的なスポーツイベントの政策マネジメントモデルを企画・立案する。	OATS123と同一。
01EK116	スポーツプロモーション研究方法論IV	2	2.0	2	秋ABC	随時	菊 幸一, 高橋 義雄	スポーツプロモーションに関する研究方法論について、その視角、課題について理解し、実証的な視点から検討して修士論文あるいは特定課題研究報告書を作成することを目標とする。学生の現職経験に基づく実践的な課題を取り上げ、政策科学的視点からその存立状況を構造的に分析することによって、専門研究にむけて課題化する。さらに明確化された専門課題解決の可能性と限界を明らかにし、問題解決に対応する専門研究の研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて現職経験から得られる固有のデータを生かし、それを学術情報化することによって、修士論文・特定課題研究報告書を作成する。	OATS164と同一。
01EK117	スポーツプロモーション研究方法論V	2	2.0	2	春ABC	随時	菊 幸一, 高橋 義雄	スポーツプロモーションに関する研究方法論について、その視角、課題について理解し、実証的な視点から検討して修士論文あるいは特定課題研究報告書を作成することを目標とする。学生の現職経験に基づく実践的な課題を取り上げ、政策科学的視点からその存立状況を構造的に分析することによって、専門研究にむけて課題化する。さらに明確化された専門課題解決の可能性と限界を明らかにし、問題解決に対応する専門研究の研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて現職経験から得られる固有のデータを生かし、それを学術情報化することによって、修士論文・特定課題研究報告書を作成する。	9月末修了予定者用 OATS165と同一。

2-1-2 選択専門科目(スポーツマネジメント領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK201	スポーツマネジメント論特講	1	2.0	1・2	秋B	水7,8,集中		尾縣 貢	地域のスポーツクラブと学校の運動部、それぞれの活動における問題点を明確にし、今後、取り組むべき課題とそれらを解決するための具体的な取り組みについて概説する。また、ジュニアからシニアにいたるまでのコーチング・トレーニングのマネジメントについても講義する。地域のスポーツクラブと学校の運動部の共存共栄がわが国のスポーツの更なる発展には求められている。マネジメントの面から、それぞれの活動における問題点を明確にし、今後、取り組むべき課題とそれらを解決するための具体的な取り組みについて概説する。また、ジュニアからシニアにいたるまでのコーチング・トレーニングのマネジメントについても講義する。	集中講義10:00~ OATS210と同一。 11/20, 12/18

01EK212	スポーツマネジメント 論演習1	2	1.0	1・2	秋ABC	随時	尾縣 貢	スポーツマネジメントに関する解決すべき研究課題を設定し、文献研究を行ったうえで、各自の研究のデザインを作成する。スポーツ基本法、スポーツ立国戦略、学習指導要領等からわが国のスポーツが進むべき方向を考えるとともに、実際の地域スポーツクラブおよび学校運動部の活動状況、そしてそこに内在する問題点を把握させ、それぞれが共存共栄し、スポーツ文化を形成する上での礎となるための方策についてスポーツマネジメントの観点から検討していく。	OATS211と同一。
01EK213	スポーツマネジメント 論演習2	2	2.0	1・2	春AB	火7,8	尾縣 貢	スポーツマネジメントに関する研究を取り上げ、それらを抄読することにより、今後解決すべき課題を明確にしたうえで、各々の課題を解決するための研究的取り組みについて理解する。スポーツ基本法、スポーツ立国戦略、学習指導要領等からわが国のスポーツが進むべき方向を考えるとともに、実際の地域スポーツクラブおよび学校運動部の活動状況、そしてそこに内在する問題点を把握させ、それぞれが共存共栄し、スポーツ文化を形成する上での礎となるための方策についてスポーツマネジメントの観点から検討していく。	OATS212と同一。
01EK205	スポーツマネジメント 論実習	3	1.0	1・2	通年	随時	尾縣 貢	学生の現職経験や体験から導かれる地域のスポーツクラブと学校の運動部における具体的成功例や失敗例を分析することで、マネジメント上の問題点を明らかにし、解決すべき課題をあげる。そして、現職経験等から見た課題解決のために必要な方策を考案し、その方策の有用性に関して議論を繰り返すことで、包括的なマネジメント戦略を構築していく。	OATS213と同一。
01EK206	高度競技マネジメント 論特講	1	2.0	1・2	春A 春B	集中 金7,8	山口 香	国際競技力開発の理念としてのスポーツ・プロフェッショナルイズムの重要性およびシステム編成に必要な資源評価・査定・開発とそのシステムマネジメントの課題と方法論について理解する。国際競技力開発に関する世界的状況を概括し、我が国における問題と課題を明らかにする。そして、国際競技力開発の仕組みを「発掘・育成・強化・支援」の各開発段階における物的・人的・文化的資源のシステム化として概説し、システム編成に必要な資源評価・査定・開発とそのシステムマネジメントの課題と方法論について講義する。	集中講義10:00~ OATS220と同一。 4/17, 4/24
01EK214	高度競技マネジメント 論演習1	2	1.0	1・2	春ABC	随時	山口 香	オリンピックにおいて競技者の最高パフォーマンスを発揮させるために必要なマネジメントの実践的な課題を、国際・国内スポーツ組織論、情報戦略論、競技パフォーマンス分析論、競技者及びチームマネジメント論、メディアマネジメント論等の総合的戦略として理解する。国際競技大会において競技者及びチームの最高パフォーマンスを発揮させるために必要なマネジメントの実践的な課題を、国際・国内スポーツ組織論、情報戦略論、競技パフォーマンス分析論、競技者及びチームマネジメント論、メディアマネジメント論、スポンサー対応論等の総合的戦略として理解させ、オリンピック競技大会やワールドカップ等の具体的事例に対応する国際競技スポーツマネジメントのシミュレーションを行う。	OATS221と同一。
01EK215	高度競技マネジメント 論演習2	2	2.0	1・2	秋AB	火7,8	山口 香	スポーツ基本法、スポーツ立国戦略、学習指導要領等からわが国のスポーツが進むべき方向を考えるとともに、実際の地域スポーツクラブおよび学校運動部の活動状況、そしてそこに内在する問題点を把握させ、それぞれが共存共栄し、スポーツ文化を形成する上での礎となるための方策についてスポーツマネジメントの観点から検討していく。	OATS222と同一。
01EK210	高度競技マネジメント 論実習	3	1.0	1・2	通年	随時	山口 香	学生の現職経験から導かれる国際競技大会における具体的な成功事例や失敗事例等を競技力開発と総合戦略の視点から捉え直し、そこにおける国際競技マネジメントの具体的な課題を明らかにする。そして、現職経験との関係から見た課題解決のために必要な資源評価・査定・開発及びシステム編成のモデルをデザインし、そのモデルと現職経験の比較検討を通して、具体的な課題解決に向けたマネジメント戦略をシミュレーションする。	OATS223と同一。

01EK216	スポーツマネジメント 研究方法論Ⅳ	2	2.0	2	秋ABC	随時	尾縣 貢, 山口 香	現職としてのフィールドを最大限に生かした上での課題意識を明確にし、それらを合理的・客観的に解決するための科学的技法について学習するとともに、成果をまとめあげて公表するまでの一連のプロセスを習得し、研究的視野と技法を身につけた高度専門職としての能力を高めることを目標とする。スポーツマネジメントに関する学生の実践的研究課題に対応しながら、実践的課題解決に向けた研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて、現職経験から得られる固有のデータを生かし、それを学術情報化することによって、修士論文・特定課題研究の作成を導く。	OATS264と同一。
01EK217	スポーツマネジメント 研究方法論Ⅴ	2	2.0	2	春ABC	随時	尾縣 貢, 山口 香	現職としてのフィールドを最大限に生かした上での課題意識を明確にし、それらを合理的・客観的に解決するための科学的技法について学習するとともに、成果をまとめあげて公表するまでの一連のプロセスを習得し、研究的視野と技法を身につけた高度専門職としての能力を高めることを目標とする。スポーツマネジメントに関する学生の実践的研究課題に対応しながら、実践的課題解決に向けた研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて、現職経験から得られる固有のデータを生かし、それを学術情報化することによって、修士論文・特定課題研究の作成を導く。	9月末修了予定者用 OATS265と同一。

3-1 関連専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK301	コミュニティスポーツ プロモーション論特講	1	1.0	1・2					我が国におけるコミュニティスポーツの歴史を概観し、地域社会におけるスポーツの社会的役割を概説する。特に政策的に推進されている総合型地域スポーツクラブを取り上げ、その展開過程や経営課題を概観する。また、総合型地域スポーツクラブを題材にしながら、公共スポーツ施設の整備と経営の考え方、指導者養成をめぐる制度的課題、ボランティア論、スポーツと市民社会論などについて講義する。	OATS351と同一科目 西暦偶数年度開講。
01EK302	スポーツプロモーション 法制論特講	1	1.0	1・2					スポーツプロモーションに関する法制度全般を概説し検討する。また、今後のスポーツ立法政策について考える。スポーツ関連法制について概観し、スポーツプロモーションに向けたスポーツ法制度の構造や諸課題を具体的な事例を通じて講義する。アマチュアスポーツやスポーツ行政だけでなくプロスポーツやスポーツの経済的活動に関する法制度も解説する。	西暦偶数年度開講。 OATS311と同一。 2021年度開講せず。
01EK321	スポーツの倫理と教育	1	1.0	1・2	春C	集中		深澤 浩洋, 長谷川 悦示	我が国のスポーツプロモーションにおけるスポーツの倫理と教育の可能性について、歴史的変遷や諸外国との比較を通じて説明できる。また、我が国のスポーツ教育の政策の歴史を踏まえ、今後の課題について説明することができることを目標とする。我が国のスポーツプロモーションにおけるスポーツの倫理について、ルールやエトス、フェアプレイなどをめぐって講義する。また我が国のスポーツ教育政策の歴史を概観し、スポーツ教育の諸課題について講義する。	集中講義10:00~ 西暦奇数年度開講。 OATS312と同一。 7/24, 7/31
01EK322	スポーツプロモーション とビジネス	1	1.0	1・2	秋C	木7,8		仲澤 眞, 嵯峨 寿	スポーツプロモーションに関連する産業やビジネスを概観し、ビジネスマネジメントの視点からスポーツやスポーツイベントの特徴について事例を通じて講義する。スポーツプロモーションの視点から、プロスポーツの運営やスポーツメーカーのブランディングの事例を取り上げ、スポーツビジネスの現状と課題について講義する。	西暦奇数年度開講。 OATS313と同一。
01EK323	トップアスリートの トレーニング	1	1.0	1・2	秋C	金7,8		白木 仁, 河合 季信, 榎本 靖士	トップアスリートが競技力を向上するためのトレーニング内容やバイオメカニクスの活用方法について学ぶ。トップアスリートの競技力向上のためのトレーニング及びバイオメカニクスを学ぶ。ジュニア期のトレーニング、年間計画、身体運動におけるバイオメカニクスの目的、活用方法などについて考える。 この講義は前半をトレーニング論(6回)、後半をバイオメカニクス論(4回)とし、それぞれ別の教員が担当する。	OATS314と同一。
01EK324	トップコーチング	1	1.0	1・2	秋C	火7,8		仙石 泰雄, 岡田 弘隆, 吹田 真土, 小井土 正亮, 川村 卓	世界のトップをめざした競技力向上のフレーム(枠組み)を理解し、そこで重要な役割を果たすコーチに必要な資質やスキルを学ぶ。オリンピックやワールドカップなどでアスリートが高いパフォーマンスを発揮するためのコーチングの理論と実際を学ぶ。世界の強豪国・地域の視点、競技特性の視点、世界の動向など、さまざまな観点から、トップレベルのコーチに求められる役割や資質について考える。	OATS315と同一。

01EK325	生涯スポーツのトータルマネジメント	1	1.0	1・2	春C	火7,8	坂本 昭裕, 平山素子, 澤江 幸則, 寺山 由美, 本谷 聡	競技スポーツとは異なる目的、側面を持つ身体運動・スポーツのマネジメントについて理解を深めることを目標にする。競技スポーツとは異なる目的、側面を持つ野外教育・スポーツ、舞踊、体操などの歴史や教育的側面を踏まえた最新のコーチングやマネジメントについて学ぶ。また、障害者スポーツについての現状と課題を検証し、理解を深める。	OATS316と同一。
01EK320	国際スポーツビジネス論	1	1.0	1・2	秋BC	随時	高橋 義雄	今日グローバルに展開される国際スポーツビジネスについてヨーロッパ、アメリカ、アジア、途上国の現状を理解し、それぞれの地域で必要な高度な知識、ビジネススキル、ビジネスマインドを学ぶ。また国際スポーツビジネスに必要なマネジメント能力を非常勤講師や招聘する実務家を通じて学び、グループごとに示されたテーマに沿った分析を行い、グループ発表することでコミュニケーションスキルも身に着ける。	OATS352と同一科目 OATS352と同一。